

1,550 nmアダプタスタイルアッテネータ発注のご案内

モデル	内容
F-ADAT-15-03-50	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、3 dB、FC/PCコネクタ
F-ADAT-15-03-55	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、3 dB、FC/APCコネクタ
F-ADAT-15-05-50	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、5 dB、FC/PCコネクタ
F-ADAT-15-05-55	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、5 dB、FC/APCコネクタ
F-ADAT-15-10-50	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、10 dB、FC/PCコネクタ
F-ADAT-15-10-55	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、10 dB、FC/APCコネクタ
F-ADAT-15-15-50	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、15 dB、FC/PCコネクタ
F-ADAT-15-15-55	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、15 dB、FC/APCコネクタ
F-ADAT-15-20-50	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、20 dB、FC/PCコネクタ
F-ADAT-15-20-55	固定式ファイバアッテネータ、1,550 nm、20 dB、FC/APCコネクタ

可変レシオカプラ

Variable Ratio Couplers



- 精密なカップリングレシオ調整範囲は0 ~ 100%
- 低い挿入損失
- 高い偏波面アイソレーション
- 偏波面保存タイプと非偏波面保存タイプをご用意

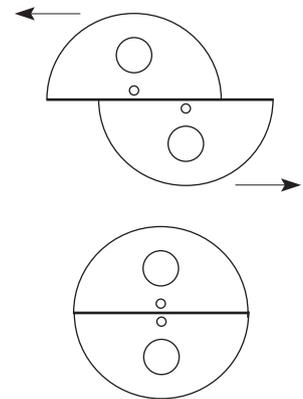
F-CPL可変レシオカプラは可変結合比、方向性を持った研磨ファイバカプラです。このデバイスは光ファイバ研究で光シグナルを分割または合成するのに使えます。その低い損失と精密構造でF-CPLはスムーズで簡単にカップリング比をコントロールできます。偏波面保存タイプと非偏波面保存タイプがあります。また、波長630 nm、830 nm、980 nm、1,060 nm、1,300 nm、1,550 nm用があります。

仕様

パラメータ	Non-PMタイプ	PMタイプ
カップリング率 (代表値) (%)		0-100 ⁽¹⁾
挿入損失、最大値、コネクタなし		0.1 ⁽²⁾
ファイバタイプ	シングルモード	偏波面保存タイプ
消光比最小 (dB) (コネクタなし)	N/A	20
消光比最小 (dB) (コネクタ付)	N/A	15
使用波長 (nm)	630、830、1,060、1,300、および1,550	980および1,550
寸法 l x w x h [in. (mm)]	0.98 x 1.5 x 2.5 (25 x 38 x 63)	
ファイバコネクタ	FC/PC、FC/APC、SC/PC、SC/APC、またはコネクタなし	

⁽¹⁾室温 (25°C)。

⁽²⁾1,550 nmで代表値、挿入損失は他の波長で増える可能性があります。詳細は弊社までお問い合わせください。



(上)最小カップリング
(下)最大カップリング

カップリングレシオは、ファイバコアのずれを変化させることで変えられます。

発注のご案内(Non-PM タイプ)

モデル	内容
F-CPL-1550-N-FP	可変レシオカブラ、1,550 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1550-N-FA	可変レシオカブラ、1,550 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-1300-N-FP	可変レシオカブラ、1,300 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1300-N-FA	可変レシオカブラ、1,300 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-1060-N-FP	可変レシオカブラ、1,060 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-1060-N-FA	可変レシオカブラ、1,060 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-830-N-FP	可変レシオカブラ、830 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-830-N-FA	可変レシオカブラ、830 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ
F-CPL-630-N-FP	可変レシオカブラ、630 nm、Non-PM、FC/PCコネクタ
F-CPL-630-N-FA	可変レシオカブラ、630 nm、Non-PM、FC/APCコネクタ

発注のご案内(PM タイプ)

モデル	内容
F-CPL-1550-P-FP	可変レシオカブラ、1,550 nm、PMファイバ、FC/PCコネクタ
F-CPL-1550-P-FA	可変レシオカブラ、1,550 nm、PMファイバ、FC/APCコネクタ
F-CPL-980-P-FP	可変レシオカブラ、980 nm、PMファイバ、FC/PCコネクタ
F-CPL-980-P-FA	可変レシオカブラ、980 nm、PMファイバ、FC/APCコネクタ

コンパクト時間遅延コイル Compact Time Delay Coils



- コンパクトなサイズ
- 低い挿入損失
- 遅延長を選択可能
- 頑丈な構造
- 簡単な使用方法

コンパクトで損失の小さなファイバコイルの作成には注意力と精度と熟練が必要です。独自製造技術で作られるNewportのF-TDCコンパクト時間遅延コイルならば挿入損失の極めて小さなコイルを納得のゆく予算と大きさでお届けすることができます。貴重なスペースを占拠する大きなファイバースプールや小口径スプールによる大きな挿入損失で悩むことはもうありません。大きな遅延を小さなコイルで実現したいという要望に応え、フォトニクス市場に長く欠けていた分野を埋めてくれるのがNewportの光ファイバコイルです。コイルは頑丈にパッケージングされていますから、現場での取り扱いにも十分耐えることができます。

指定の時間遅延を発生させるファイバ長を計算するには次の式を用います：

$$L = c\Delta t/n$$

c が真空中での光速の場合、 Δt は希望する時間遅延、 n は目的とする波長におけるフューズドシリカの屈折率を表します。このファイバでは波長1,310 nmにおいて $n=1.4677$ 、波長1,550 nmにおいて $n=1.4682$ という値になります。